

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【公開番号】特開2002-99398(P2002-99398A)

【公開日】平成14年4月5日(2002.4.5)

【出願番号】特願2000-292438(P2000-292438)

【国際特許分類】

G 0 6 F	3/12	(2006.01)
B 4 1 J	29/38	(2006.01)
H 0 4 N	1/00	(2006.01)

【F I】

G 0 6 F	3/12	D
B 4 1 J	29/38	Z
H 0 4 N	1/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ネットワーク処理システム、ネットワーク処理方法、周辺装置および記憶媒体

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】情報処理装置および周辺装置がネットワークを介して接続されたネットワーク処理システムにおいて、

前記情報処理装置は、前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を前記周辺装置に送信する送信手段を備え、

前記周辺装置は、前記送信手段によって送信された前記書式情報を受信する受信手段と、

前記受信した書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する登録手段と、

前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する制御手段と、
を備えたことを特徴とするネットワーク処理システム。

【請求項2】前記制御手段は、

前記書式情報に基づくジョブの処理を行った後、当該書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を可能にすることを特徴とする請求項1記載のネットワーク処理システム。

【請求項3】前記制御手段は、前記周辺装置がジョブを処理する際に使用する複数のリソースのうち前記書式情報に基づくジョブの処理に用いるリソース以外のリソースを

使用するジョブの実行を可能にすることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のネットワーク処理システム。

【請求項 4】 ネットワークを介して周辺装置と情報処理装置が接続されたネットワーク処理システムにおけるネットワーク処理方法において、

前記情報処理装置は、前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を前記周辺装置に送信する工程を有し、

前記周辺装置は、前記送信された前記書式情報を受信する工程と、

前記受信した書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する工程と、

前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する工程とを有することを特徴とするネットワーク処理方法。

【請求項 5】 前記制御する工程では、

前記書式情報に基づくジョブの処理を行った後、当該書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を可能にすることを特徴とする請求項 4 記載のネットワーク処理方法。

【請求項 6】 前記制御する工程では、前記周辺装置がジョブを処理する際に使用する複数のリソースのうち前記書式情報に基づくジョブの処理に用いるリソース以外のリソースを使用するジョブの実行を可能にすることを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載のネットワーク処理方法。

【請求項 7】 周辺装置において、

前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を受信する受信手段と、

前記受信手段によって受信した前記書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する登録手段と、

前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する制御手段と、
を備えたことを特徴とする周辺装置。

【請求項 8】 前記制御手段は、前記書式情報に基づくジョブの処理を行った後、当該書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を可能にすることを特徴とする請求項 7 記載の周辺装置。

【請求項 9】 前記制御手段は、前記周辺装置がジョブを処理する際に使用する複数のリソースのうち前記書式情報に基づくジョブの処理に用いるリソース以外のリソースを使用するジョブの実行を可能にすることを特徴とする請求項 7 又は 8 に記載の周辺装置。

【請求項 10】 周辺装置を制御するコンピュータによって実行され、周辺装置に以下の工程を実行させるためのプログラムが格納された記憶媒体において、

前記プログラムは、

前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を受信する工程と、

前記受信された前記書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する工程と、

前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する工程と、

を備えたことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0001】****【発明の属する技術分野】**

本発明は、LAN等のネットワーク上で動作するネットワーク処理システム、ネットワーク処理方法、周辺装置および記憶媒体に関する。

【手続補正4】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0004****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0004】**

そこで、本発明は、簡単な操作で各種の設定を伴った処理を行うことができ、また、多人数で1つのデバイスを共用する際、使用感を高めることができるネットワーク処理システム、ネットワーク処理方法、周辺装置および記憶媒体を提供することを目的とする。

【手続補正5】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0005****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0005】****【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するために、本発明の請求項1に記載のネットワーク処理システムは、情報処理装置および周辺装置がネットワークを介して接続されたネットワーク処理システムにおいて、前記情報処理装置は、前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を前記周辺装置に送信する送信手段を備え、前記周辺装置は、前記送信手段によって送信された前記書式情報を受信する受信手段と、前記受信した書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する登録手段と、前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正6】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0006****【補正方法】削除****【補正の内容】****【手続補正7】****【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0007****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0007】**

請求項4に記載のネットワーク処理方法は、ネットワークを介して周辺装置と情報処理装置が接続されたネットワーク処理システムにおけるネットワーク処理方法において、前記情報処理装置は、前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を前記周辺装置に送信する工程を有し、前記周辺装置は、前記送信された前記書式情報を受信する工程と、前記受信した書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する工程と、前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを

実行するように制御する工程とを有することを特徴とする。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項7に記載の周辺装置は、周辺装置において、前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を受信する受信手段と、前記受信手段によって受信した前記書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する登録手段と、前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録手段による登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項10に記載の記憶媒体は、周辺装置を制御するコンピュータによって実行され、周辺装置に以下の工程を実行させるためのプログラムが格納された記憶媒体において、前記プログラムは、前記周辺装置において実行されるジョブの書式情報を受信する工程と、前記受信された前記書式情報を識別するための識別情報と当該書式情報を対応させて登録する工程と、前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力されるまでの間、前記書式情報に基づくジョブ以外の他のジョブの実行を制限し、前記登録が行なわれた後、前記識別情報が入力された場合に当該識別情報と対応付けて登録されている書式情報に基づくジョブを実行するように制御する工程と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

【発明の実施の形態】

本発明のネットワーク処理システム、ネットワーク処理方法、周辺装置および記憶媒体の実施の形態を図面を参照しながら説明する。本実施形態では、周辺装置（デバイス）として、文書の送信・受信・スキャン・印刷を行うことが可能なファクシミリ装置に適用されたマルチファンクション装置を示す。